

新富町のようよう

あなたの物語
地域の物語

ワークショップに参加したい!

一緒に作品をつくってみませんか。2日間ありますが、両日参加しても、どちらか1日だけ(または一部の時間だけ)でも大丈夫!参加を希望される方は、WEBからお申込みいただくか、お電話ください。

当日の飛び入り参加も歓迎します!

- ・参加費：無料
- ・どなたでもご参加いただけます

- ※ ショーイングへの出演をご希望の方は、できれば両日参加をオススメしますが、18日(日)13:00以降は必ずご参加ください。
- ※ 当日参加の場合、新型コロナウイルス感染対策のため、来場者数によって入場を制限させていただく場合があります。



WEB申込



WEB申込

ショーイングを観たい!

2日間のワークショップの最後に、みんなで作った作品を上演します。どんなことをしたのか観てみたい!という方は、ぜひショーイングにお越しください。観覧を希望される方は、WEBからお申込みいただくか、お電話ください。

当日、飛び入りでお越しいただいても大丈夫です!

- ・参加費：無料
- ・どなたでもご覧いただけます

- ※ 座席数は20席程度を予定しております。
- ※ 当日参加の場合、新型コロナウイルス感染対策のため、来場者数によって入場をお断りさせていただく場合があります。

ワークショップの参加者を募集します

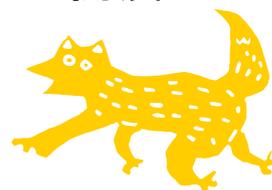


ワークショップ

7月17日(土) 10:00 - 17:00
18日(日) 10:00 - 18:00

ショーイング

7月18日(日) 16:30 開演
16:00から会場に入れます。
上演時間は30分程度を予定。



新富町総合交流センター「きらり」 大集会室

お電話でのお申込み・お問合せ先 公益財団法人宮崎県立芸術劇場 企画広報課 「新富町のようよう」係
TEL:0985-28-3208

<主催> 公益財団法人宮崎県立芸術劇場
<協力> 新富町教育委員会

4月16日(金)と
17日(土)に、



皆さんから
お話を伺いました！

きこえてきた物語、みえてきた世界

「いまを生きる」「ここで生きる」

「わたしたちはココにいていい」

きらりという空間でヒアリングをさせて頂いて
浮かび上がってきたたいせつな言葉たち。

空間から聴こえてきたそんな「声」を、
一緒に立体化してみませんか？

きらりに集まる様々な人々に直接お話を伺って、

きこえてきた物語、みえてきた世界、

短い時間ですが、それらを基にワークショップと
ショーイングというカタチで発表いたします。

演劇や舞台芸術にふれることがなかった方にも、
参加し、立ち会って頂けたらと思います。

これは、あなたの物語。地域の物語。

新富町で、きらりで、お待ちしております。

宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター
立山 ひろみ

タイトルの由来について

希望に満ちている、前途がひらけているなどを
意味する「洋々」から音をとって「新富町
のようよう」というタイトルとしました。



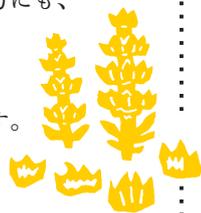
<構成・ワークショップ講師>
立山 ひろみ

1979年、宮崎県宮崎市佐土原町出身。

劇作家、演出家。宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター。パフォーマンス演劇ユニット「ニグリノード」主宰。大学卒業後、劇団黒テントに所属し、演出デビュー。同劇団を退団後、自身のユニットを立ち上げ、言葉に偏らず、身体表現、音楽等、舞台芸術の要素一つ一つをセリフと等価値に扱い、表現の可能性を模索。他カンパニーの依頼で、劇作、演出をすること多数。主な作品に、宮崎県立芸術劇場プロデュース「新かぼちゃといもがら物語」#3『たのかんさあレンジャー』、#4『幻視～神の住む町』、#5『神舞の庭』、デフ・パペットシアター・ひとみ『河の童～かわのわっぱー』、日生劇場ファミリーフェスティバル2019 音楽劇『あらしのよるに』など。その他、市民参加オペラの演出や、各地でワークショップなども行う。

スタッフ

アシスタント・出演 …… 森夢希 (劇団SPC)
音楽 …………… Shino
撮影・執筆 ……… グンジキナミ
デザイン …………… 脇川祐輔 (はなうた活版堂)
制作 …………… 青柳竜郎・林田古都里
(ともに宮崎県立芸術劇場スタッフ)



新富町の
ようよう



プロジェクト「の、まど」

劇場をとびだして、広く県民の皆さんに、音楽や演劇などの舞台芸術をお届けしようと、今年から始まったプロジェクトです。今年度はこの“新富町のようよう”の他、いくつかのプログラムを実施します。

